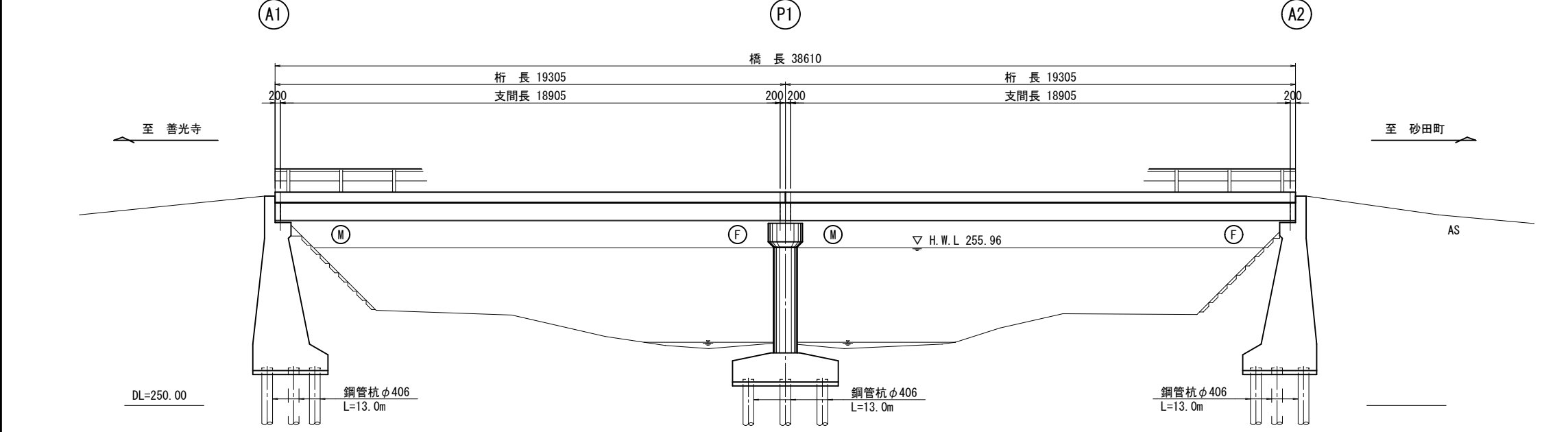
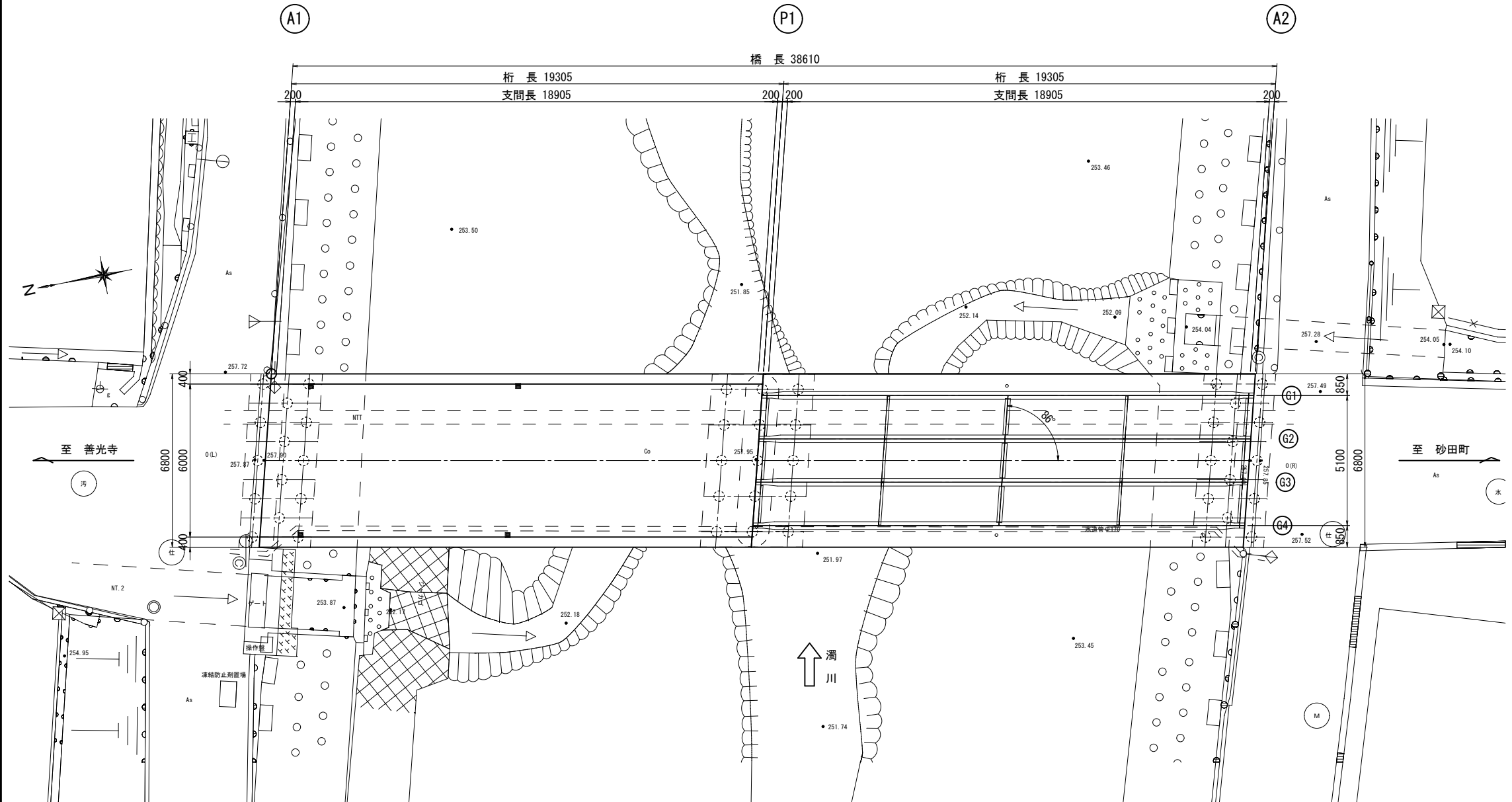


砂田橋 現況一般図

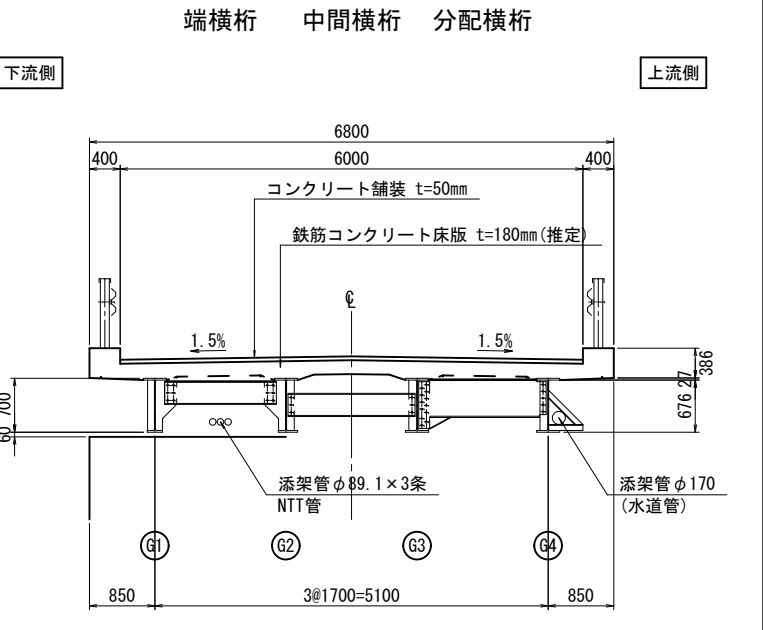
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100



断面図 S=1:50



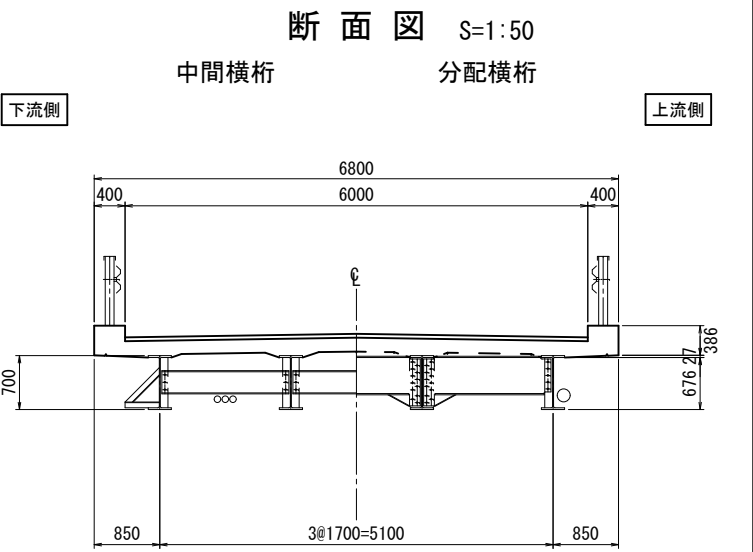
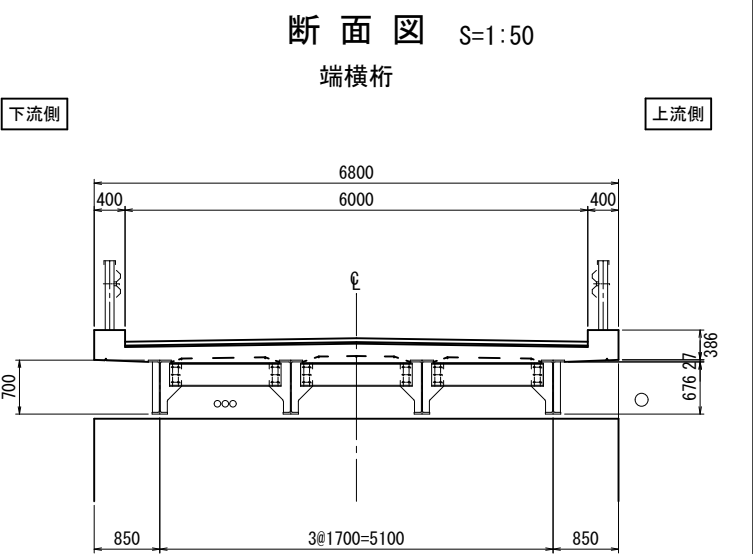
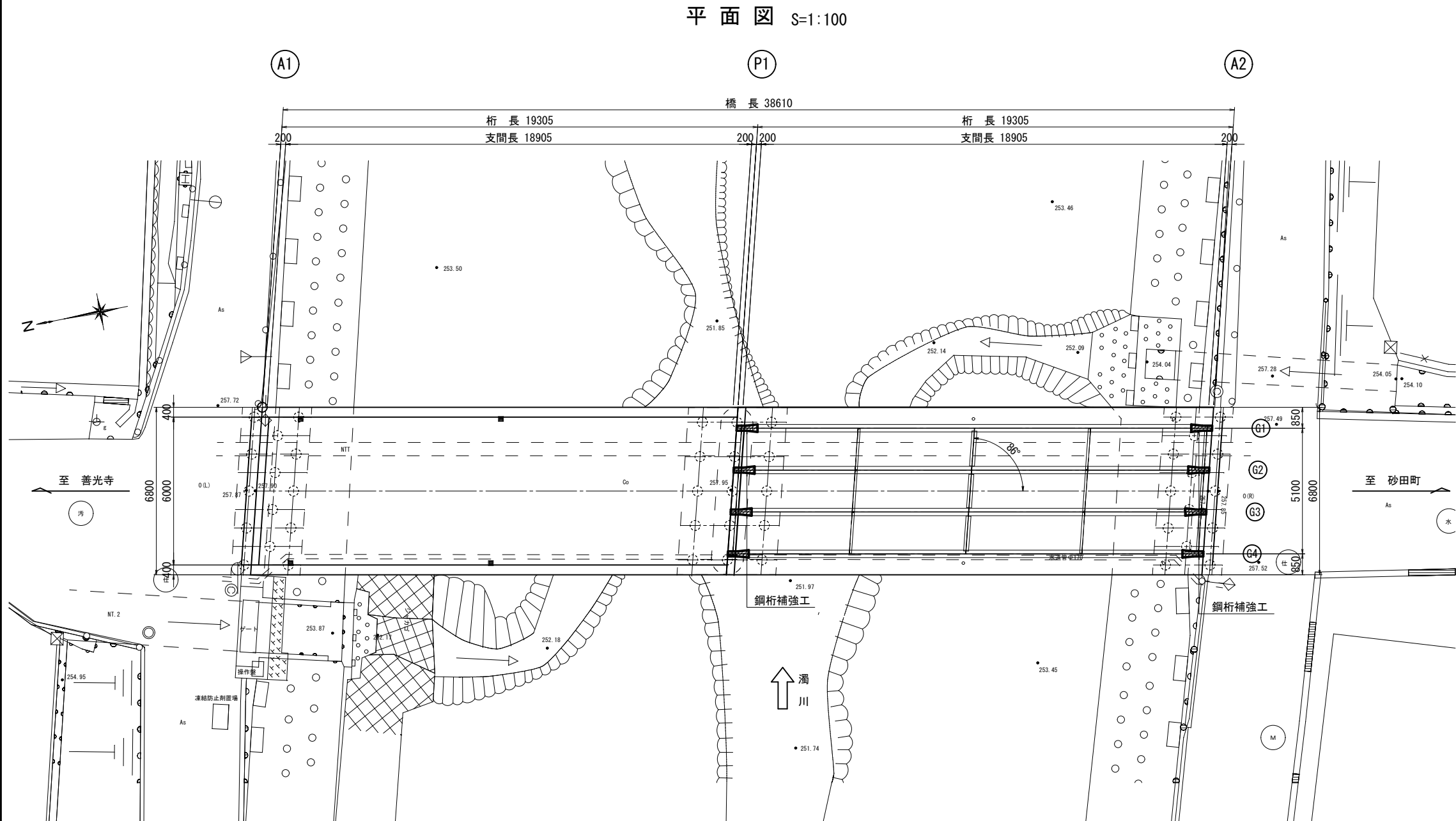
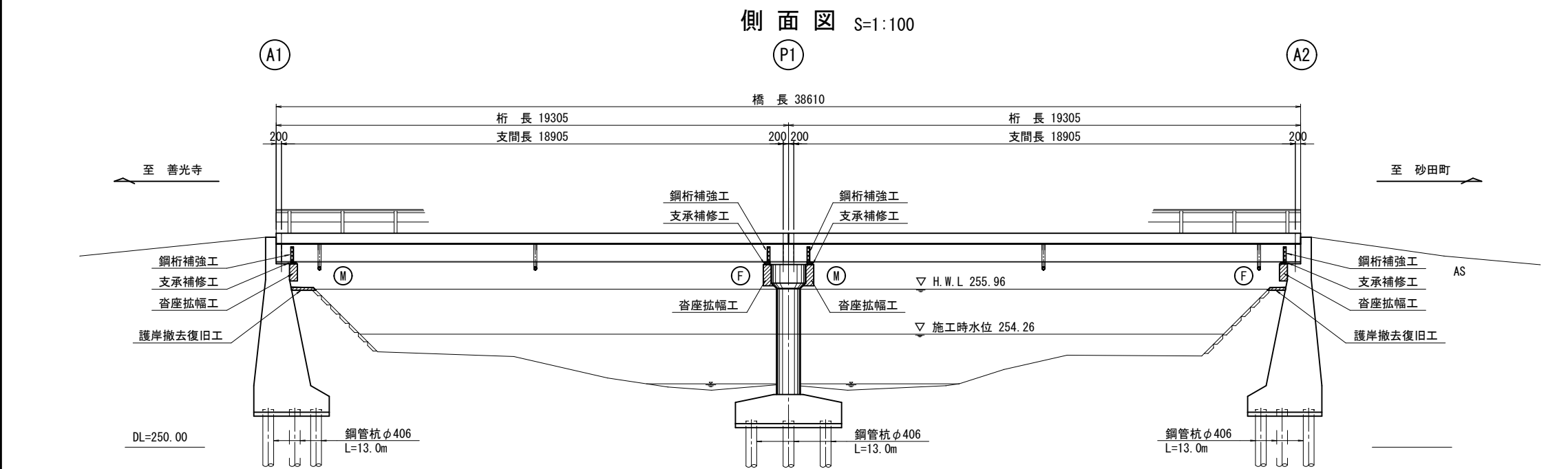
橋梁諸元表

竣工年月	昭和47年(1972年)	
橋格	TL-20	
型式	上部工	2径間単純鋼鈑桁橋
	下部工	橋台：半重力式橋台 橋脚：壁式橋脚(小判型柱)
	基礎工	鋼管杭φ406
橋長	L=38.610m	
桁長	L=19.305m+19.305m	
全幅員	W=6.800m	
有効幅員	W=6.000m	
斜角	左 86°00'00"	
舗装	コンクリート舗装(50mm)	
交差条件	濁川	
適用示方書	昭和39年	鋼道路橋設計示方書 (推定)
	昭和41.43年	道路橋下部構造設計指針(推定)

〔注記〕
1. 本図は既往の図書及び実測により作成した一般図である。

工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 現況一般図		
縮 尺	図示	図面番号	1
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

砂田橋 補修一般図



補修項目一覧表

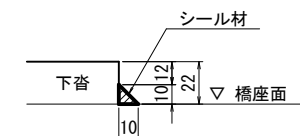
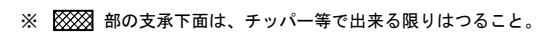
	補修内容	施工箇所
補修	支承補修工	A1, P1, A2
	沓座拡幅工	A1, P1, A2
	鋼桁補強工	A1, P1, A2
	護岸撤去復旧工	A1, A2

＜注記＞
1. 本図は既往の図書及び実測により作成した一般図である。

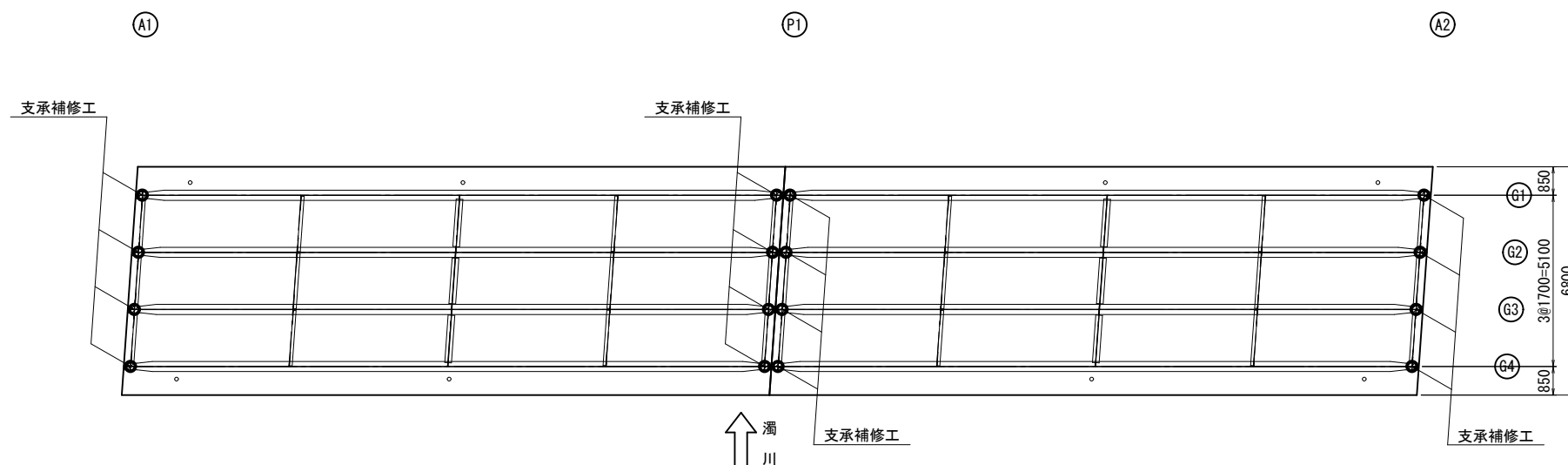
工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 補修一般図		
縮 尺	図示	図面番号	2
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

A1, A2橋台

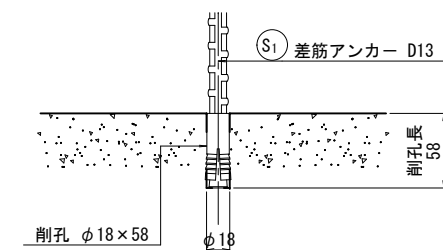
沓座モルタル復旧詳細図 S=1:5



配置図 S=1:100



アンカ一定着部詳細図 S=1:3

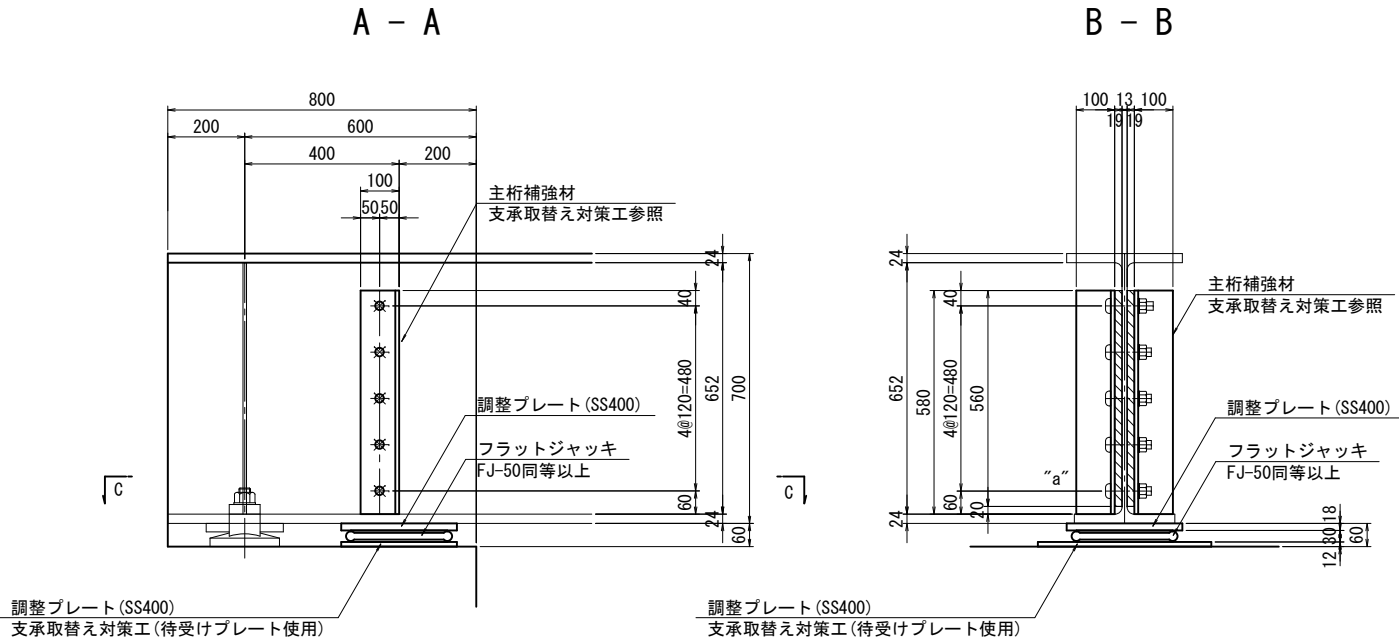


1. 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
2. 鉄筋の材質は、SD345とする。
3. 下階の側面及び下面が腐食している場合は、ワイヤブラシ等で錆を落とし、防錆スプレー等を塗布した後に無収縮モルタルを打設すること。
4. 支承補修工は、ジャッキアップ(仮受け)を行った後に実施すること。

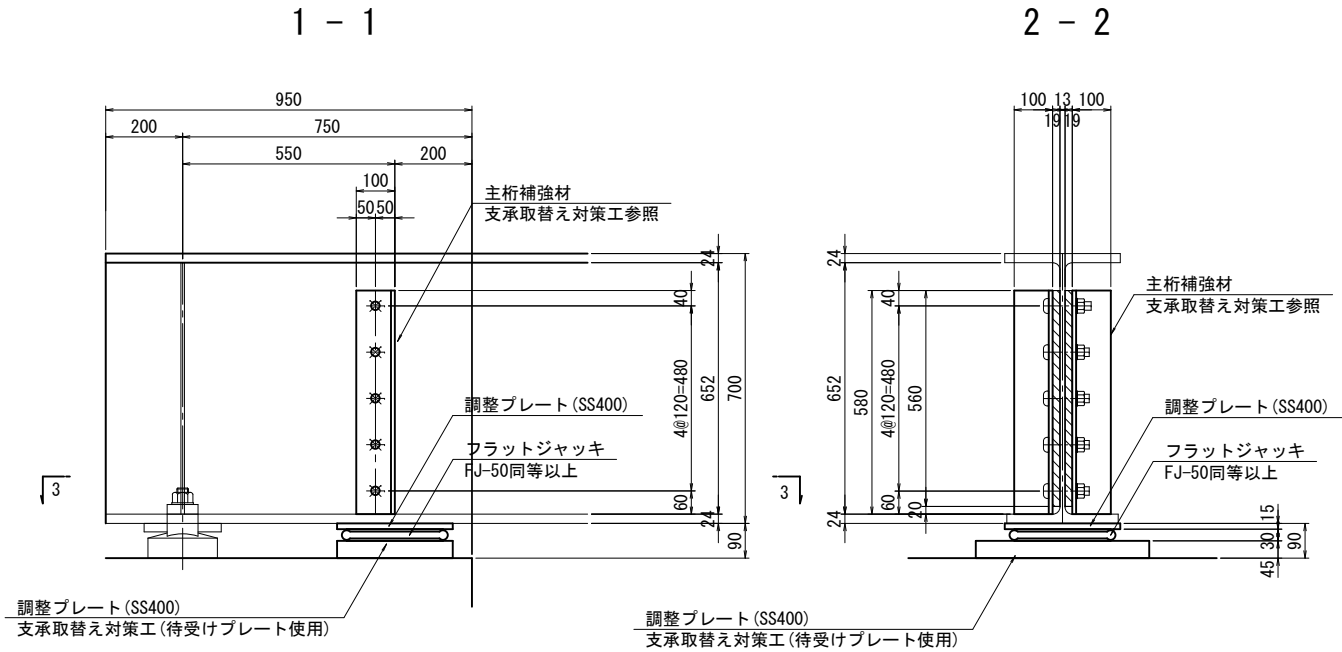
工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 支承補修工図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	3
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
	甲	府	市

砂田橋 支承補修工図(その3)
(ジャッキアップ)

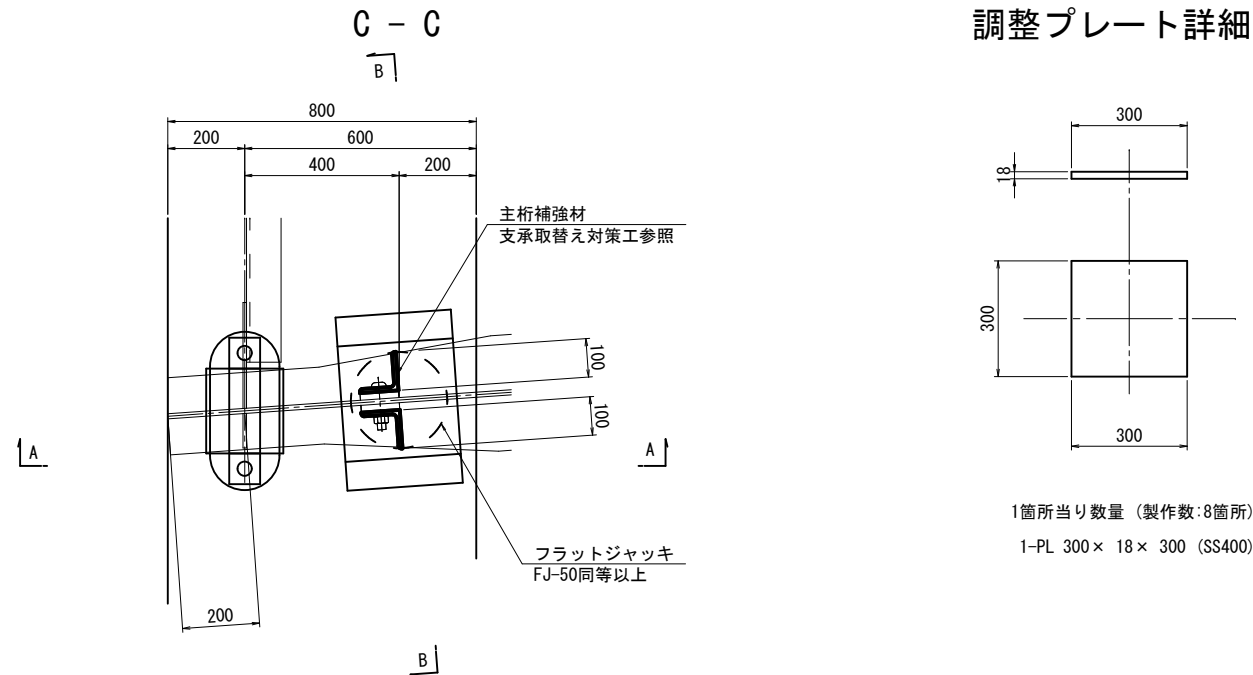
主桁補強詳細図 S=1:10
A1, A2橋台



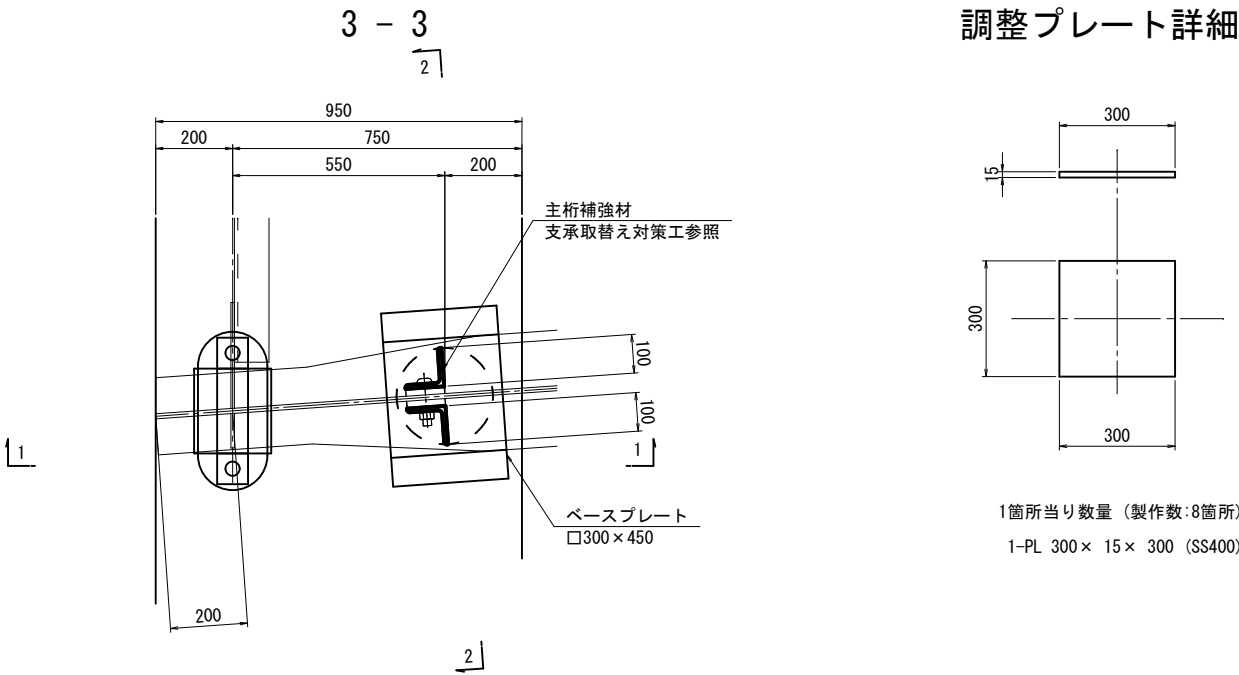
主桁補強詳細図 S=1:10
P1橋脚



調整プレート詳細図



調整プレート詳細図



支承補修工 数量表

細 別	規 格	単 位	数 量	備 考
無収縮モルタル		m ³	0.2	
型枠		m ²	0.5	
鉄筋	D13 SD345	kg	38	
差筋アンカー	D13 SD345	本	64	
コンクリート削孔	φ18×58	孔	64	
シーリング材		kg	1.4	比重1700kg/m ³
ジャッキ	FJ-50同等上	基	16	
調整プレート	SS400 6mm≦t	kg	187	
コンクリートカッター	t=10mm	m	31.7	
コンクリートはつり		m ³	0.2	参考重量 W=0.4t

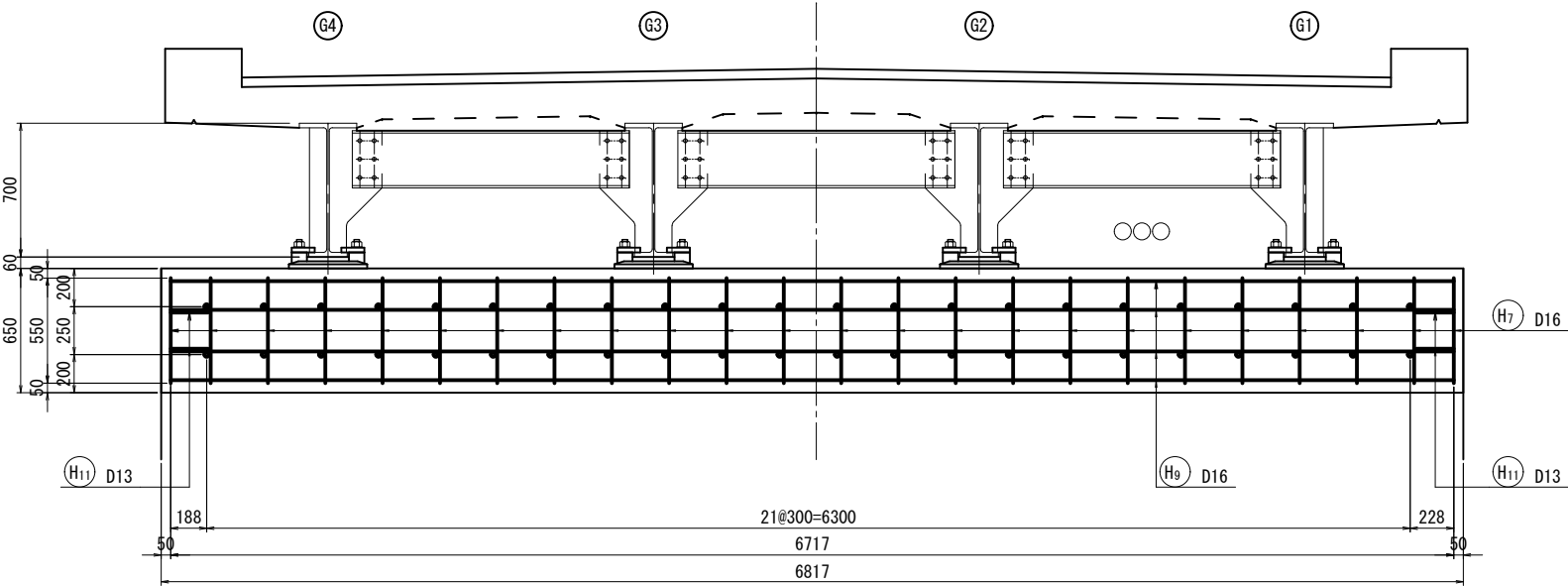
〈注記〉
1. 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
2. 添架物があるため、施工時は留意して行うこと。

工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 支承補修工図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	5
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

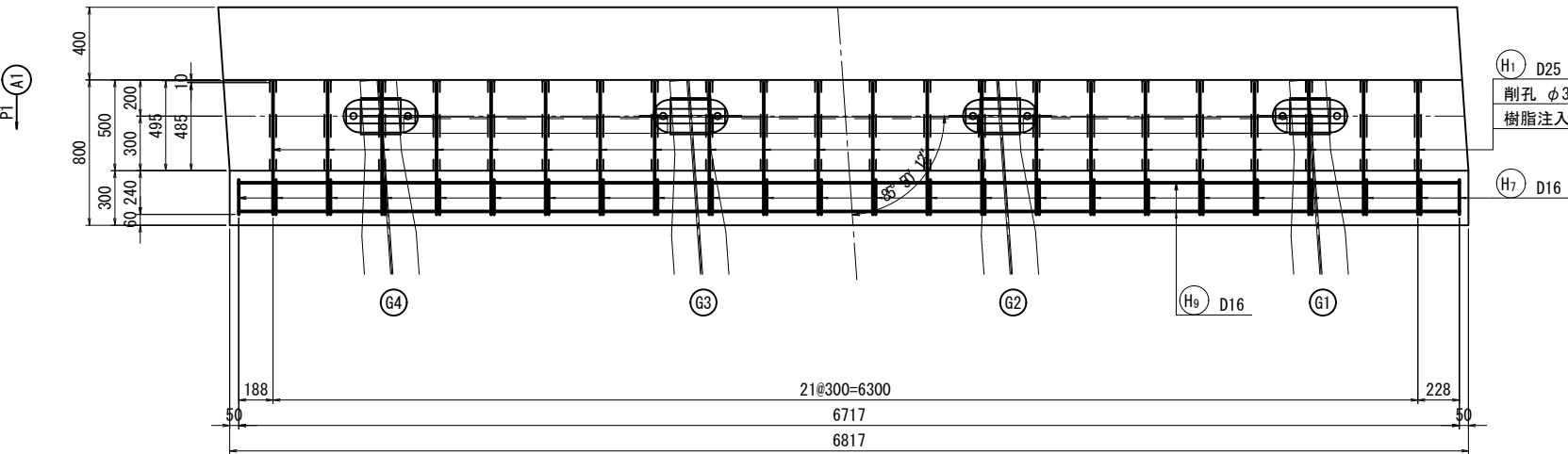
砂田橋 沓座拡幅工図(その1)

A1橋台

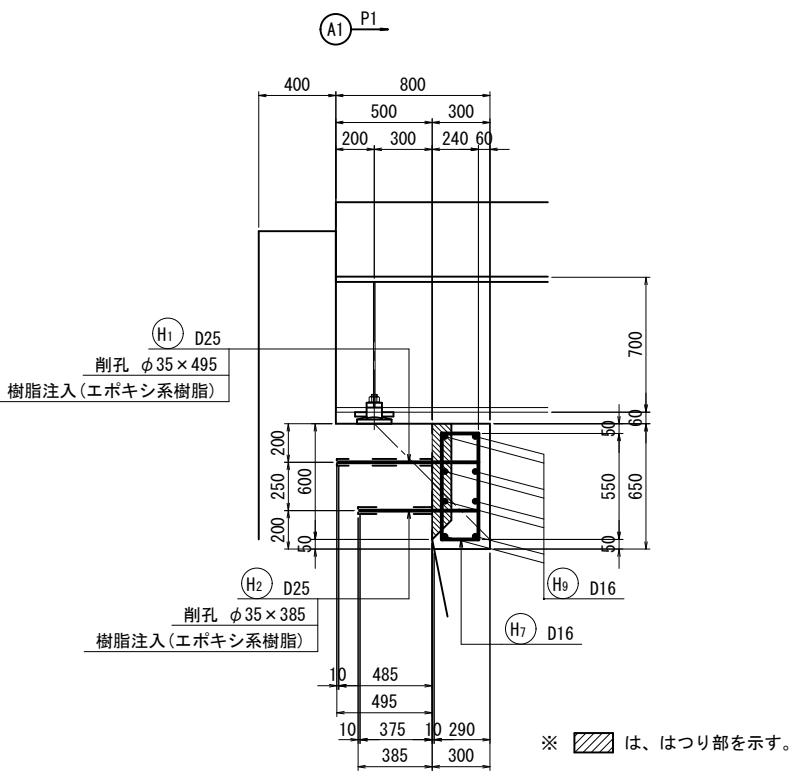
正面図 S=1:20



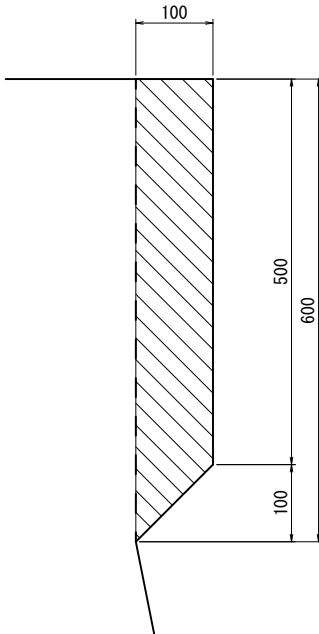
平面図 S=1:20



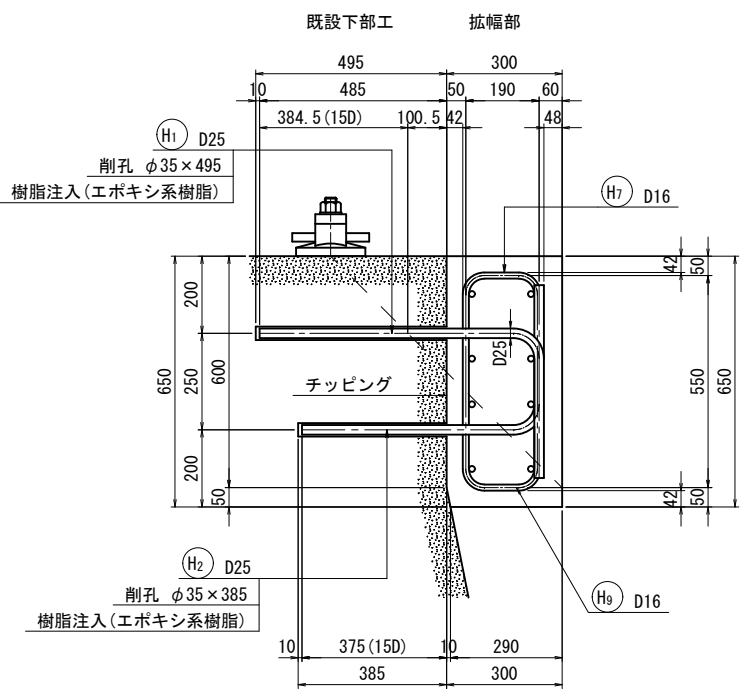
側面図 S=1:20



はつり詳細図 S=1:5



かぶり詳細図 S=1:10



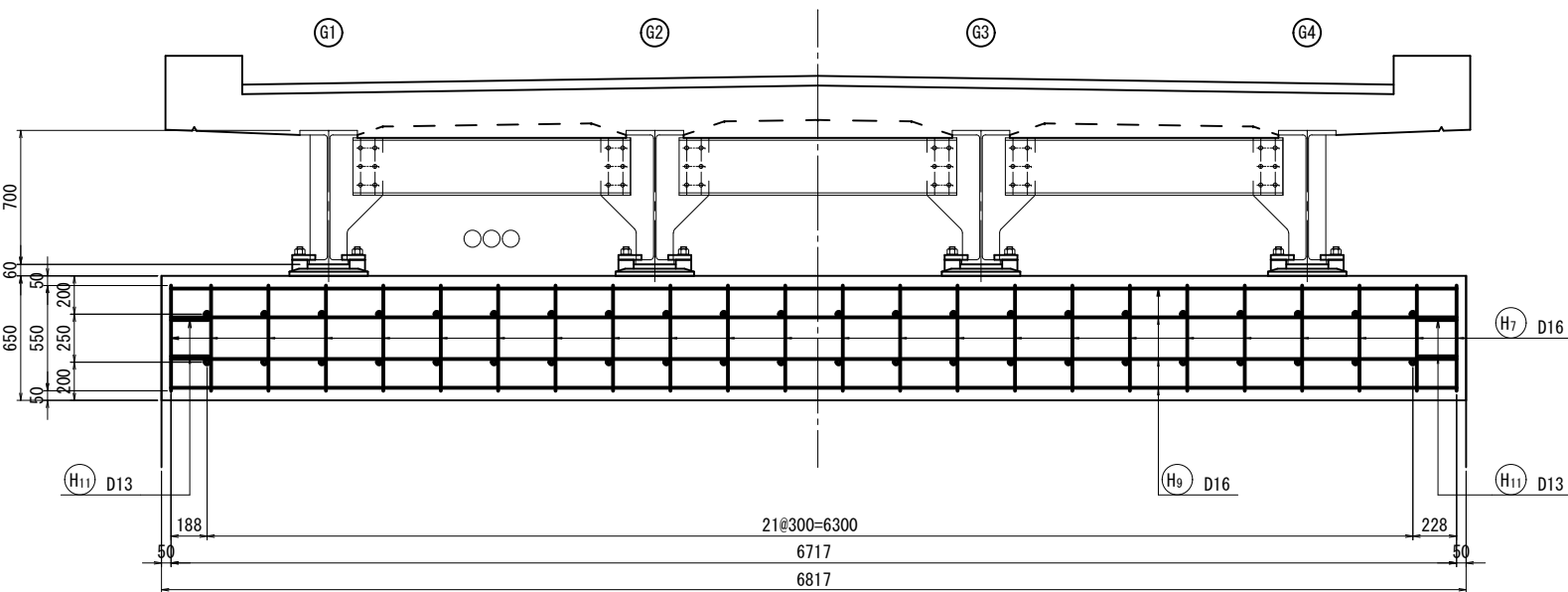
- 〈注記〉
1. 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
 2. 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
 3. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
鉄筋の材質はSD345とする。
 4. 新旧コンクリートの一体化を図るため、十分なチップング処理を行うこと。
 5. コンクリート殻が河川内に落下しない様に養生を行うこと。

工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 沓座拡幅工図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	6
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

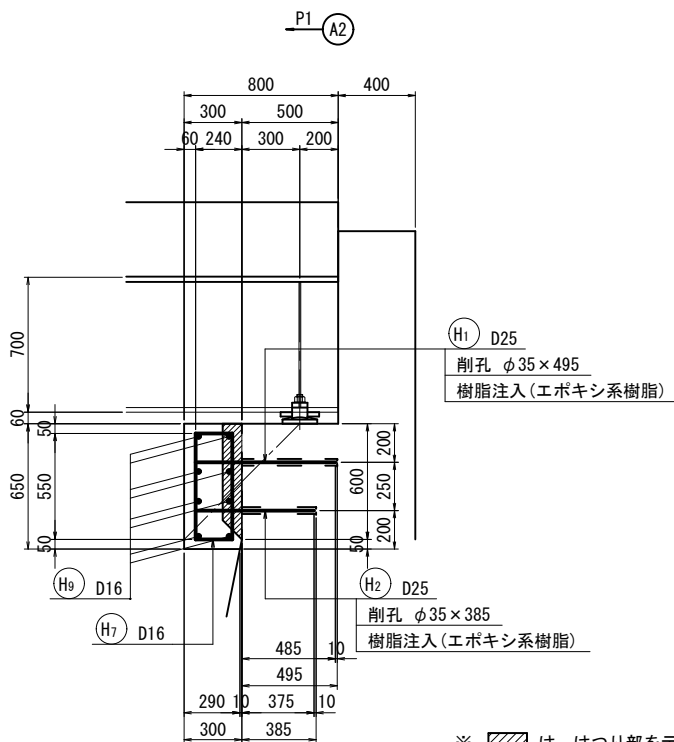
砂田橋 沓座拡幅工図(その2)

A2橋台

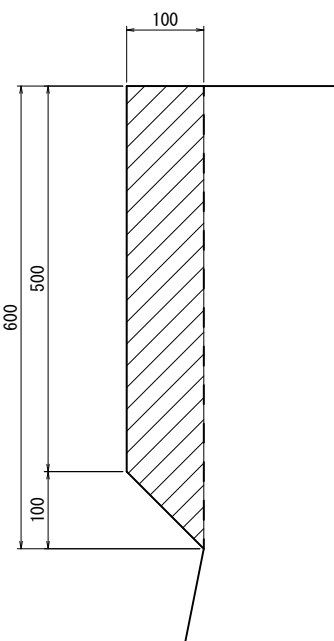
正面図 S=1:20



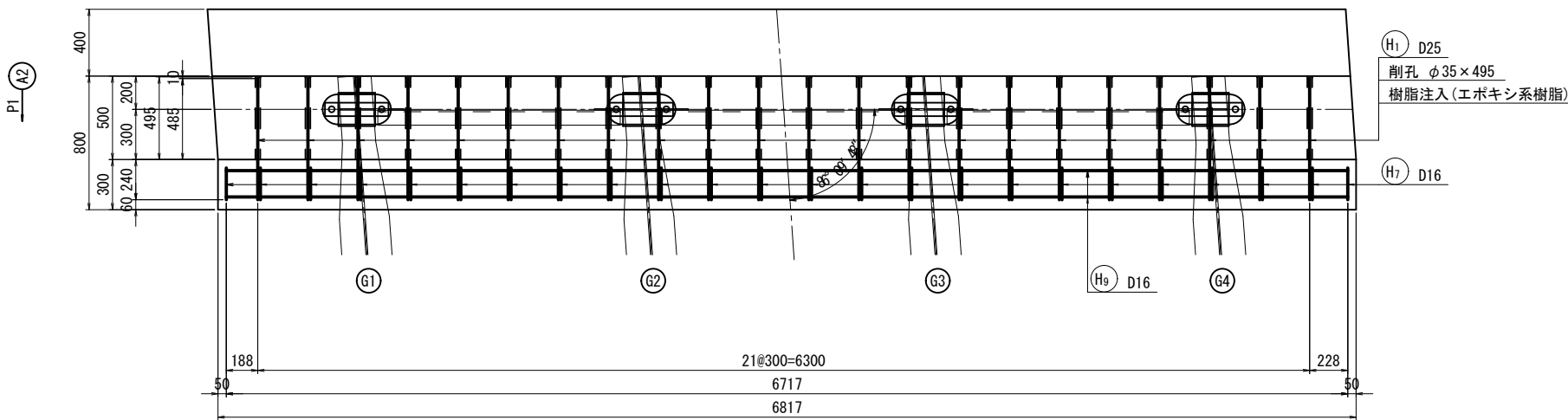
側面図 S=1:20



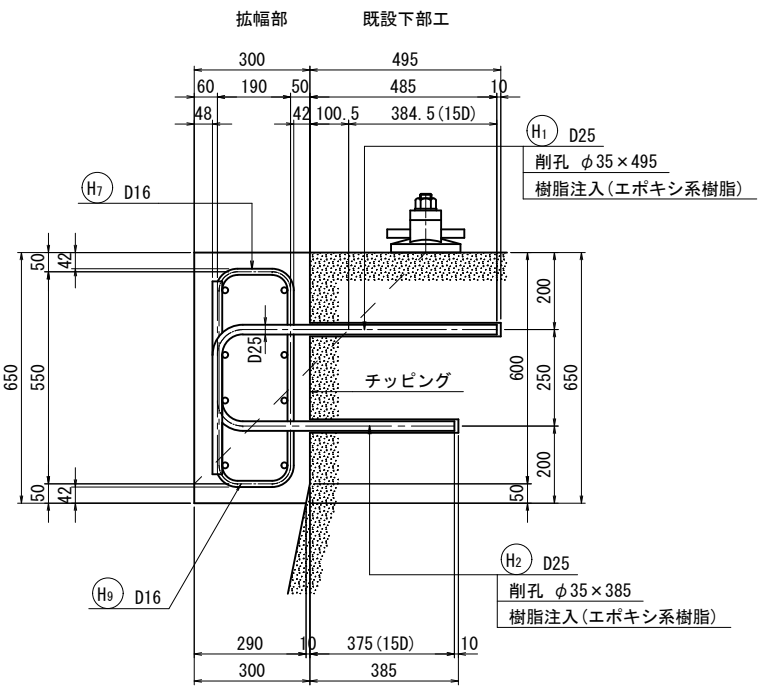
はつり詳細図 S=1:5



平面図 S=1:20



かぶり詳細図 S=1:10



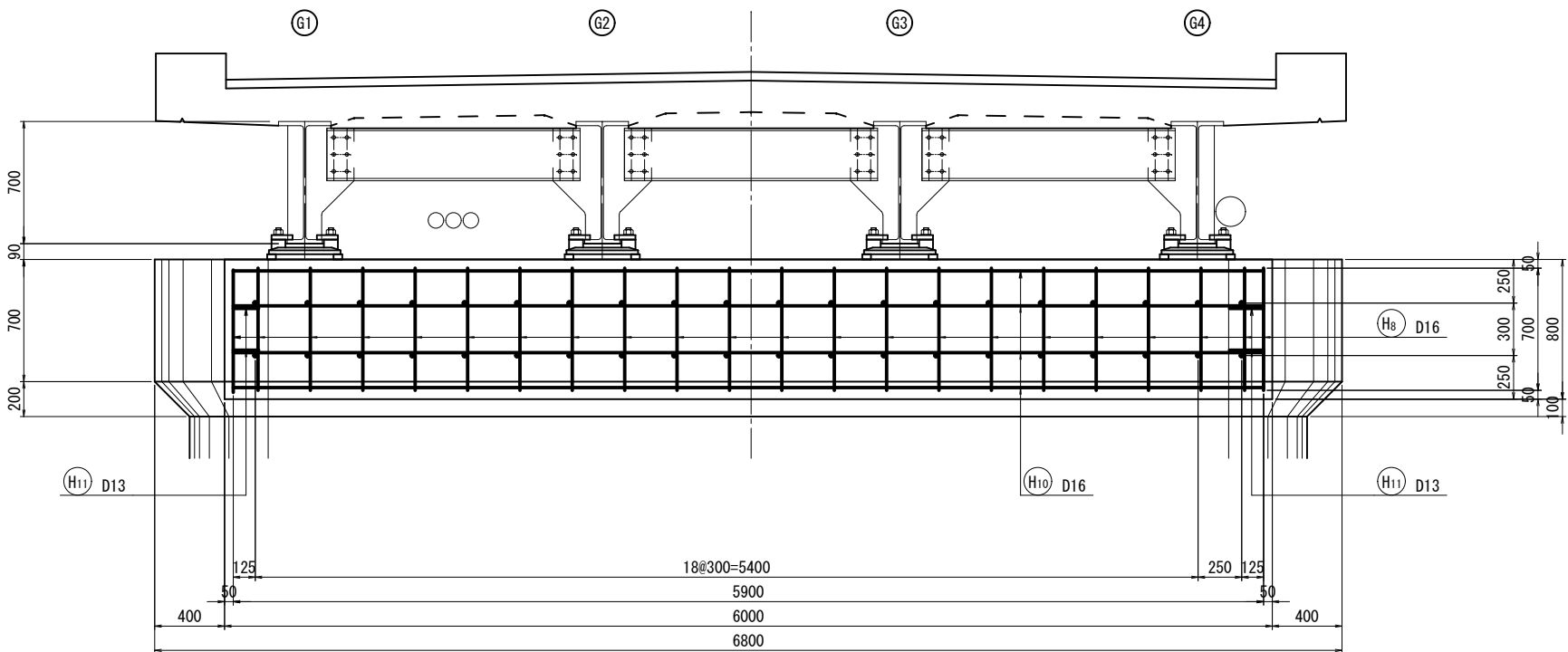
- ＜注記＞
1. 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
 2. 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
 3. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
鉄筋の材質はSD345とする。
 4. 新旧コンクリートの一体化を図るため、十分なチップング処理を行うこと。
 5. コンクリート殻が河川内に落下しない様に養生を行うこと。

工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 沓座拡幅工図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	7
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

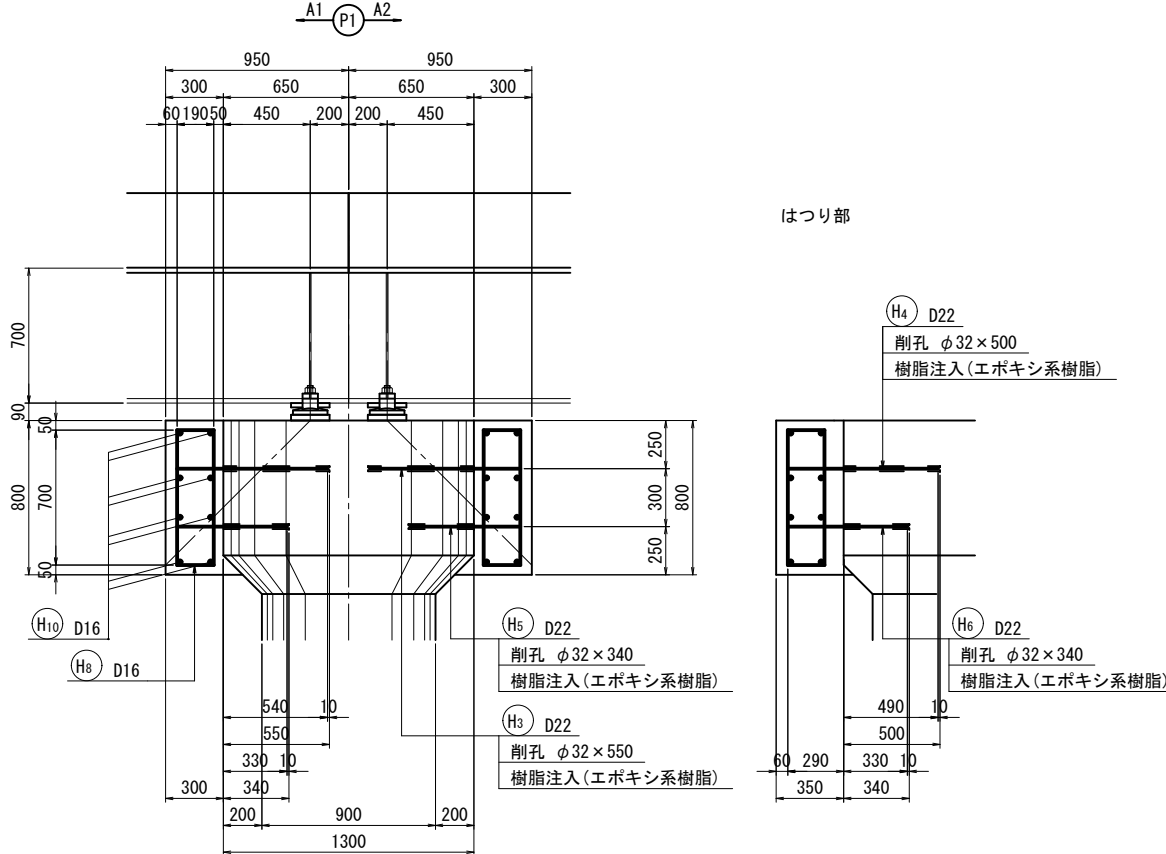
砂田橋 沓座拡幅工図(その3)

P1橋脚

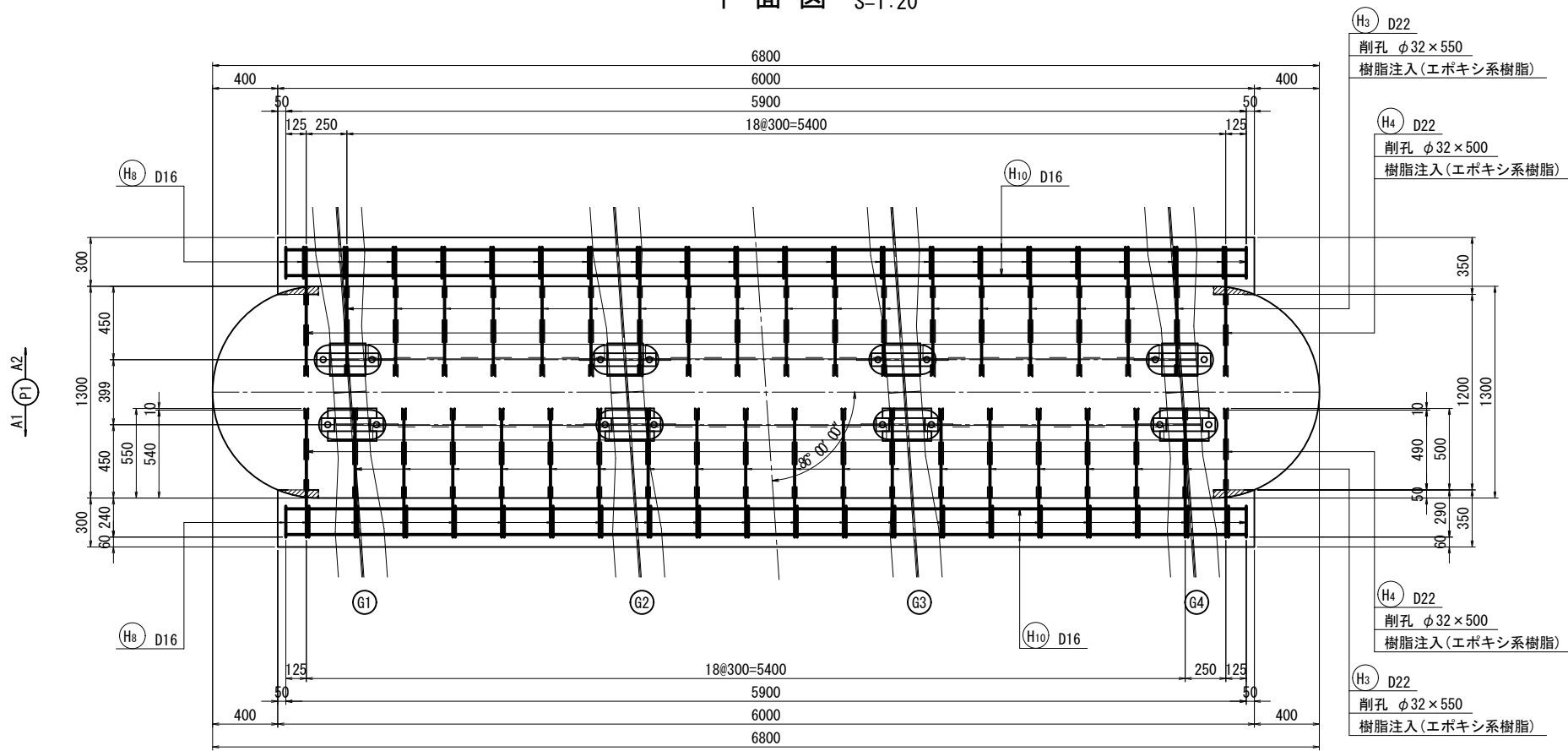
正面図 S=1:20



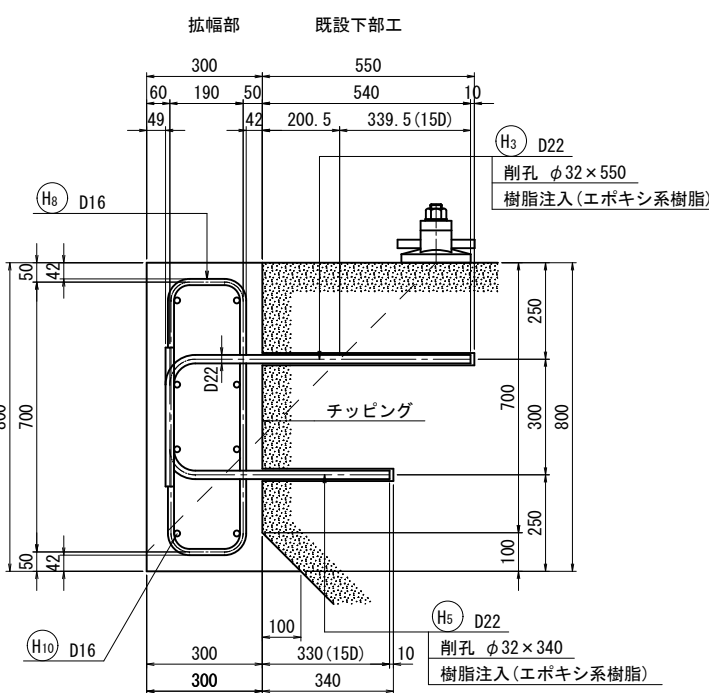
側面図 S=1:20



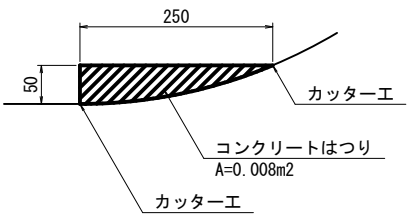
平面図 S=1:20



かぶり詳細図 S=1:10




はつり詳細図 S=1:5



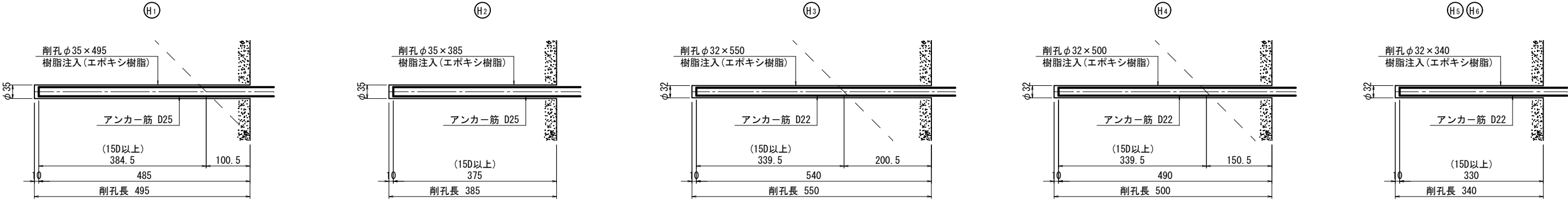
- ＜注記＞
1. 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
 2. 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
 3. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
鉄筋の材質はSD345とする。
 4. 新旧コンクリートの一体化を図るため、十分なチップング処理を行うこと。
 5. コンクリート殻が河川内に落下しない様に養生を行うこと。

工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 沓座拡幅工図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	8
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

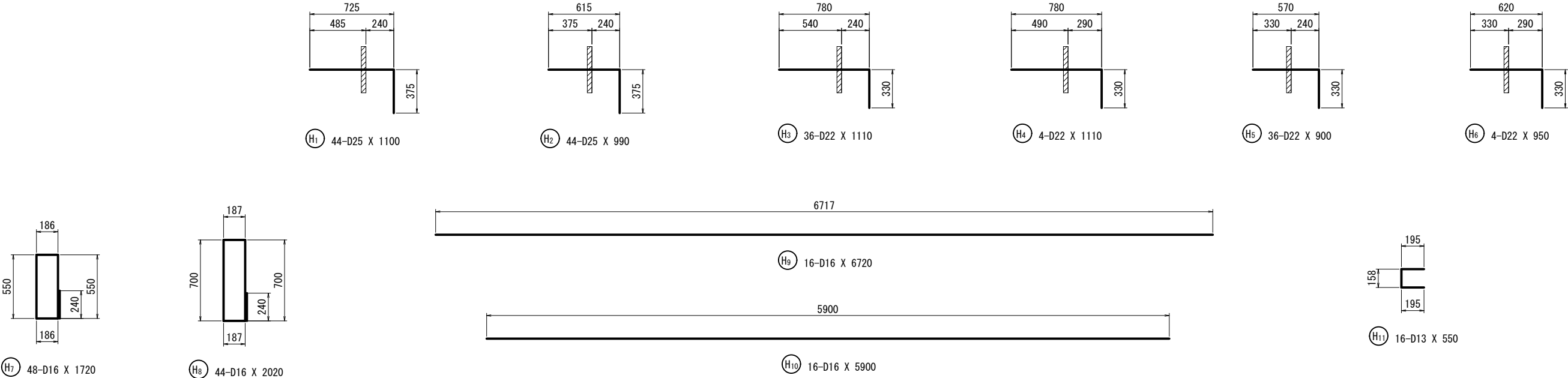
※  は、はつり部を示す。

砂田橋 沓座拡幅工図(その4)

アンカー筋定着部詳細図 S=1:5



鉄筋加工図 S=1:20



鉄筋質量表

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
H 1	D25	1100	44	3.98	4.38	193	┐
H 2	D25	990	44	3.98	3.94	173	┐
H 3	D22	1110	36	3.04	3.37	121	┐
H 4	D22	1110	4	3.04	3.37	13	┐
H 5	D22	900	36	3.04	2.74	99	┐
H 6	D22	950	4	3.04	2.89	12	┐
611							
アンカー筋							
合 計 D25				366 kg			
D22				245 kg			
総質量				611 kg			
H 7	D16	1720	48	1.56	2.68	129	▮
H 8	D16	2020	44	1.56	3.15	139	▮
H 9	D16	6720	16	1.56	10.48	168	—
H 10	D16	5900	16	1.56	9.20	147	—
H 11	D13	550	16	0.995	0.55	9	┐
592							
合 計 D16							
D13				9 kg			
総質量				592 kg			

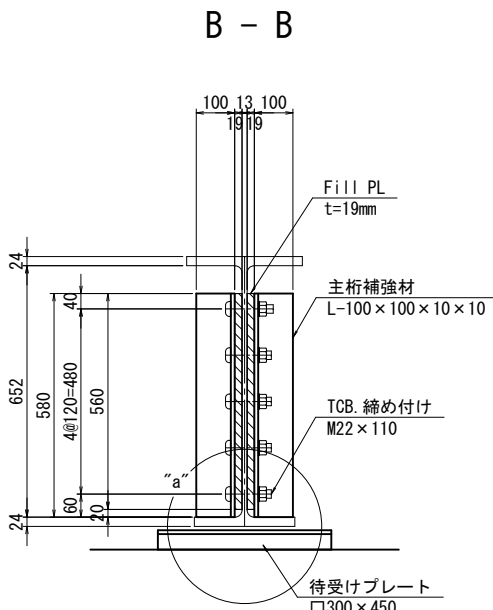
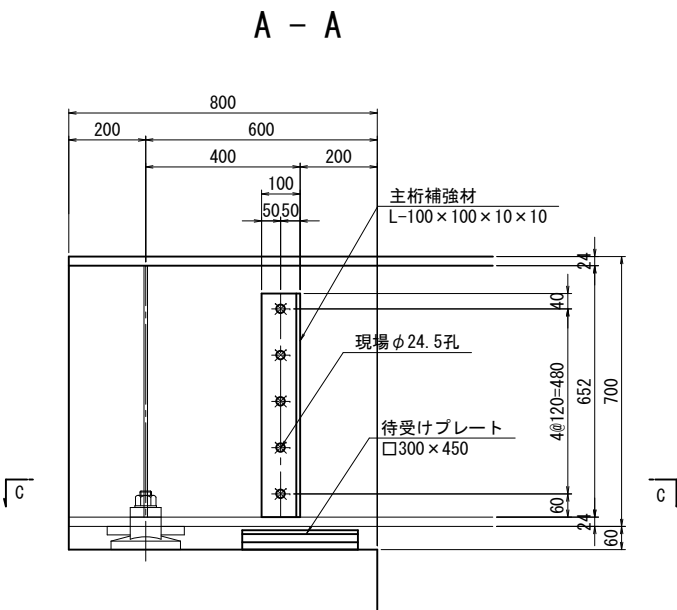
- <注記>
- 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
 - 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
 - コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$
鉄筋の材質はSD345とする。
 - 新旧コンクリートの一体化を図るため、十分なデッピン処理を行うこと。
 - コンクリート殻が河川内に落下しない様に養生を行うこと。

工 事 名	橋梁補修工事（R7－4）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 沓座拡幅工図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	9
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

砂田橋 鋼桁補強工図(その1)

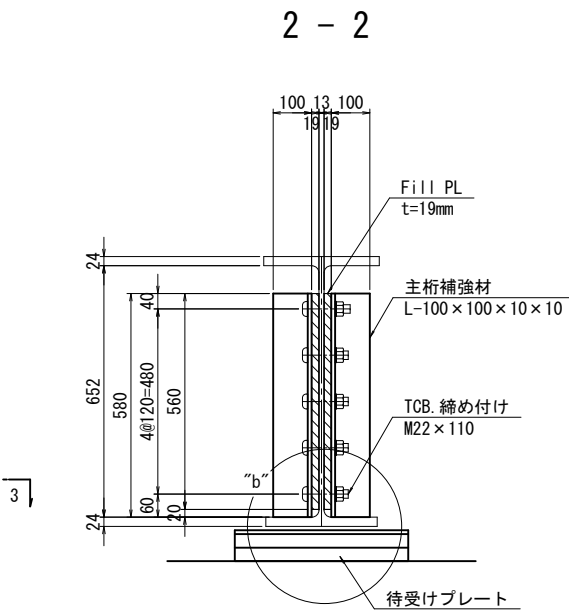
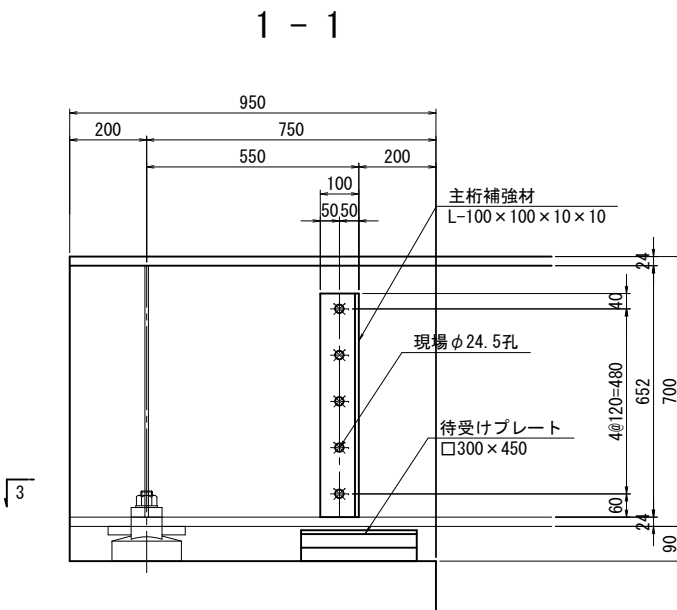
主桁補強詳細図 S=1:10

A1, A2橋台



主桁補強詳細図 S=1:10

P1橋脚

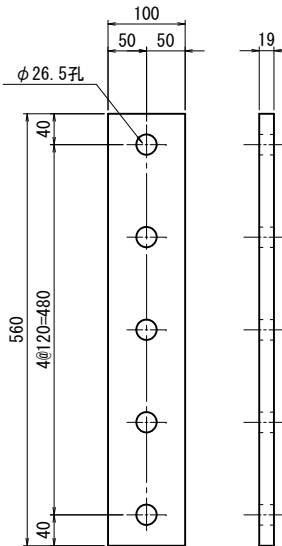
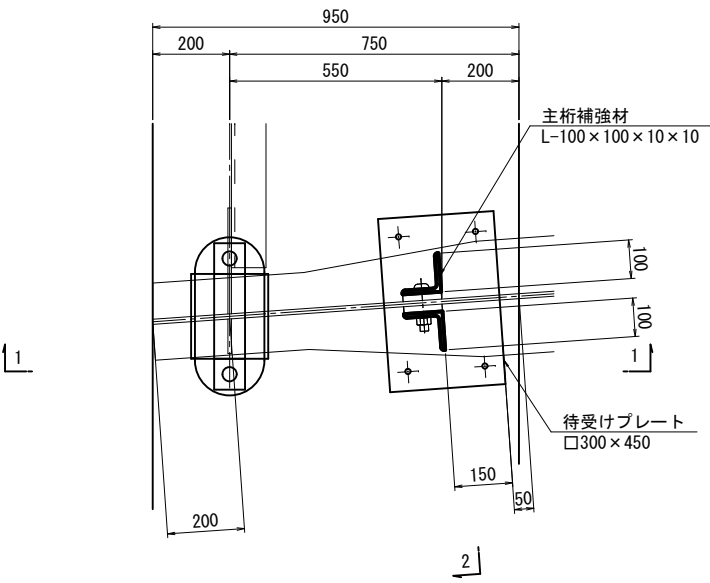
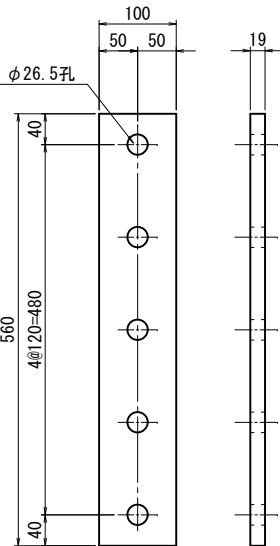
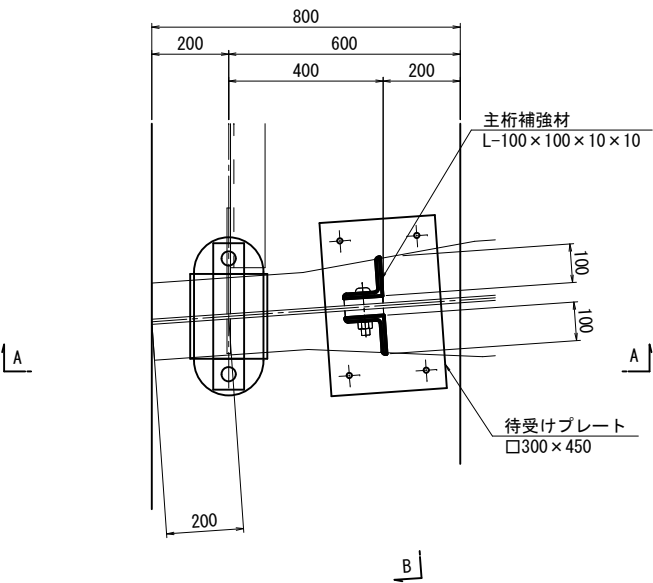


C - C

フィラープレート詳細 S=1:5

3 - 3

フィラープレート詳細 S=1:5

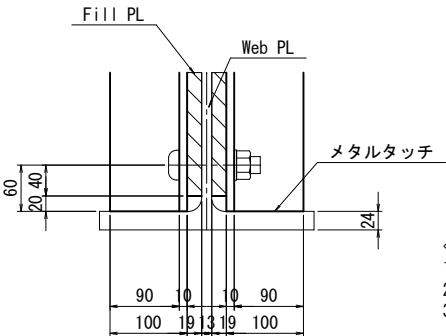
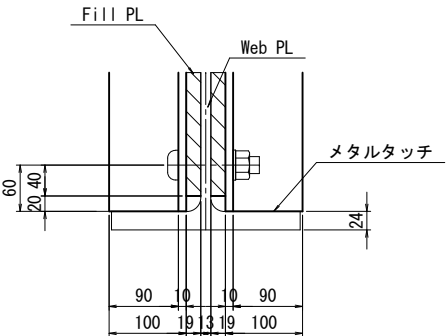


“a”部詳細 S=1:5

1箇所当り数量 (製作数:8箇所)
2-L 100×100×10×10×580
2-PL 100× 19×560
5-T, C, B, M22×110 (S10T)

“b”部詳細 S=1:5

1箇所当り数量 (製作数:8箇所)
2-L 100×100×10×10×580
2-PL 100× 19×560
5-T, C, B, M22×110 (S10T)



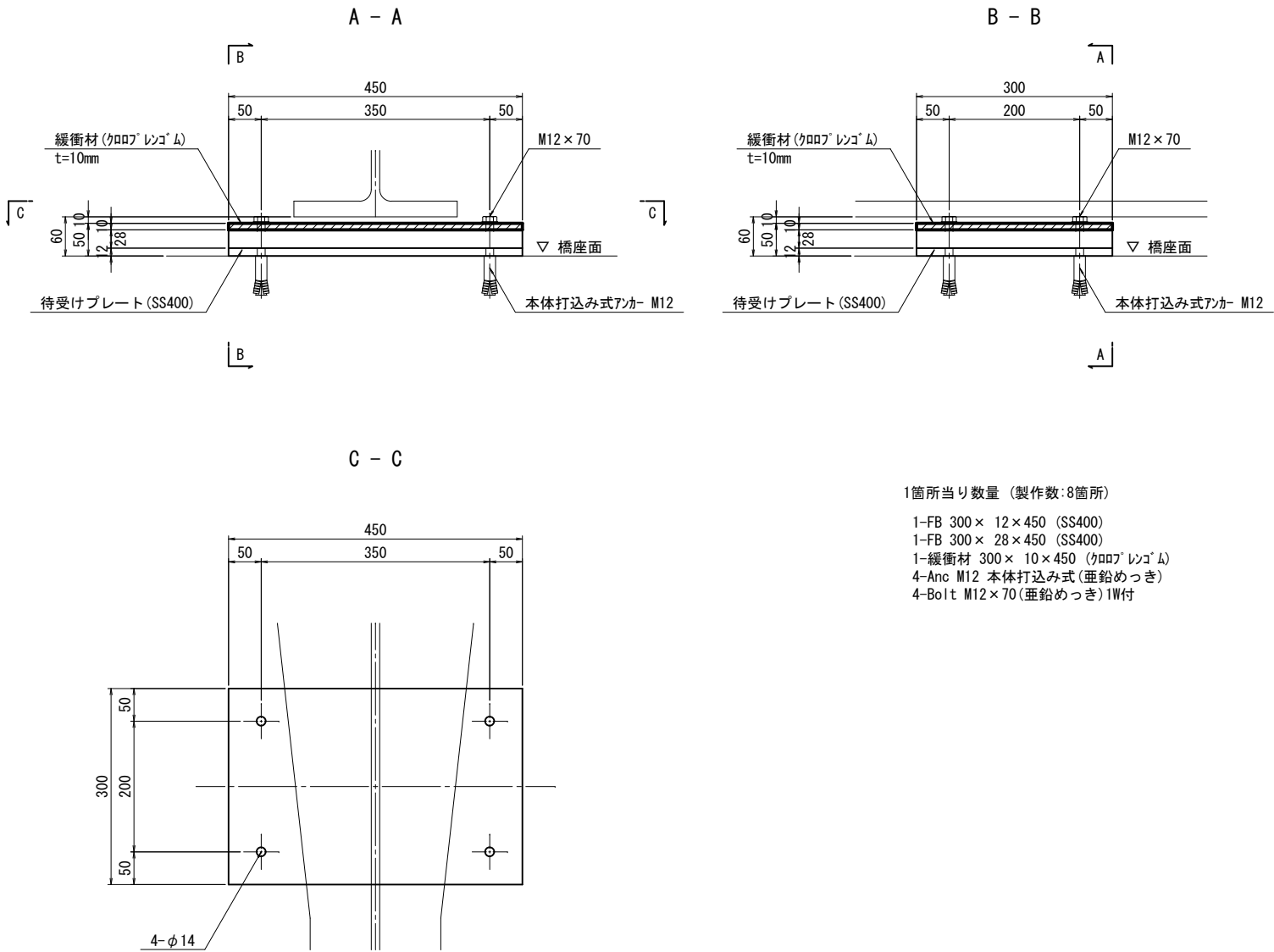
＜注記＞
1. 現場実測後検討し、製作すること。
2. 特記なき材質は、母材同材質のSS400とする。
3. * M22 (F10T) Web-PLの現場孔明けφ24.5を示す。
工場孔明けはφ26.5とする。
4. 主桁補強材の表面処理は溶融亜鉛めっき仕上げ
(HDZT77)とする。また、接合ボルトは (HDZT49)とする。

工 事 名	橋梁補修工事 (R7-4)		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 鋼桁補強工図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	10
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
	甲	府	市

砂田橋 鋼桁補強工図(その2)

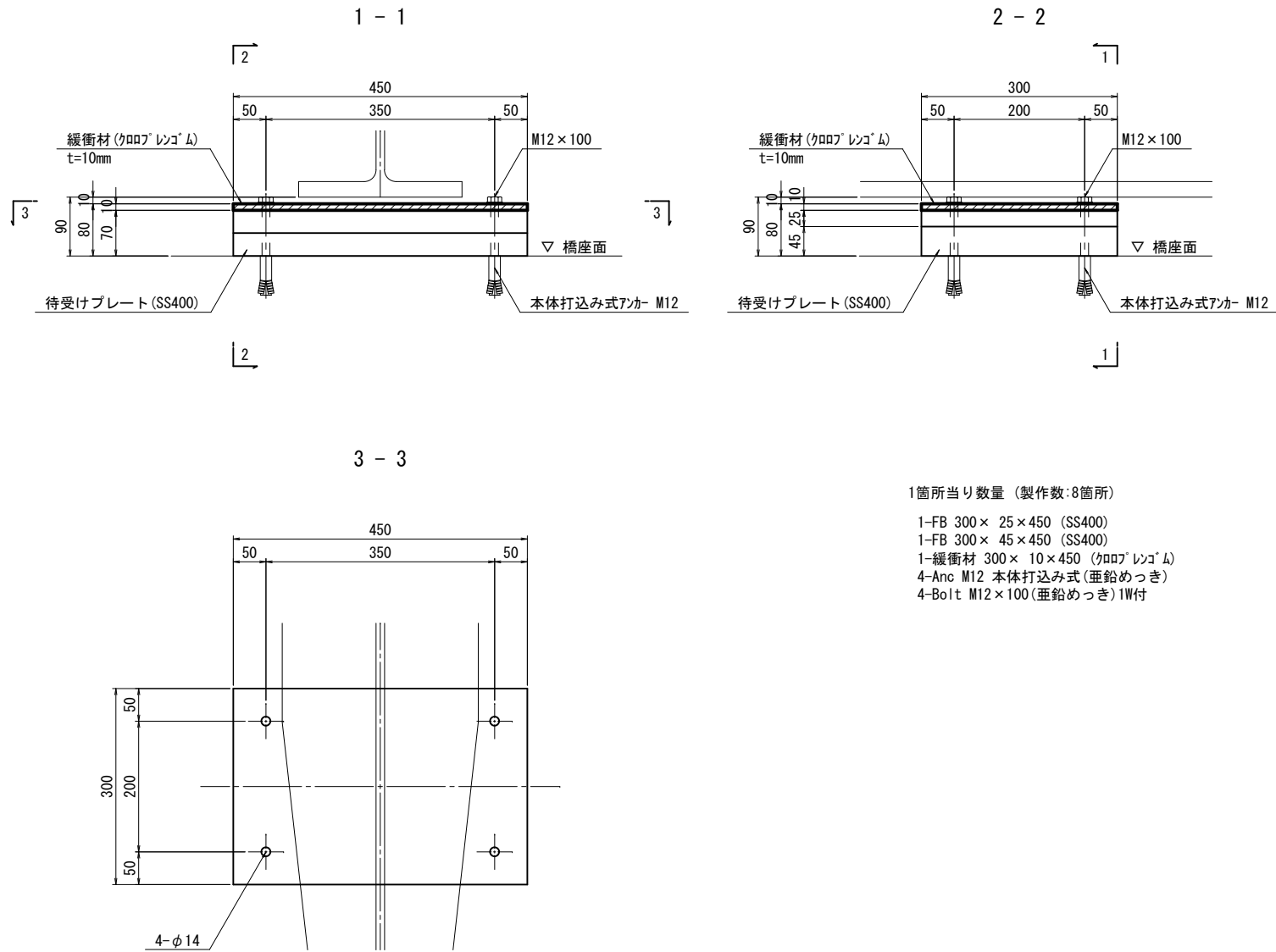
ベースプレート詳細図 S=1:5

A1, A2橋台



ベースプレート詳細図 S=1:5

P1橋脚



支取替え対策工(縁端拡幅) 数量表

1橋当り

細 別	規 格	単位	数 量	備 考
コンクリート	24-12-25	m3	5.7	
型枠		m2	29.1	
鉄筋	D13 SD345	kg	9	
	D16~D25 SD345	kg	583	
アンカー筋	D16~D25 SD345	kg	611	
下地処理	チッピング	m2	8.8	
鉄筋探査	横向き	m2	18.5	
コンクリート削孔工	φ 32 × 340	孔	40	
	φ 32 × 500	孔	4	
	φ 32 × 550	孔	36	
	φ 35 × 385	孔	44	
	φ 35 × 495	孔	44	
アンカーボルト挿入工	D22 × 330	本	40	
	D22 × 490	本	4	
	D22 × 540	本	36	
	D25 × 375	本	44	
	D25 × 485	本	44	
注入材	エポキシ樹脂系	kg	46.9	比重1200kg/m3
支保工		式	1	

支取替え対策工(主桁補強材・プレート設置) 数量表

1橋当り

細 別	規 格	単位	数 量	備 考
形鋼	L-100 × 100 × 10 × 10	kg	277	SS400
	FB-300 × 12	kg	102	SS400
	FB-300 × 25	kg	212	SS400
	FB-300 × 28	kg	237	SS400
	FB-300 × 45	kg	382	SS400
鋼材質量	SS400 6mm ≤ t	kg	267	
	T.C.B S10T M22 × 110	本	80	
	アンカー M12 本体打込み式	本	64	
	ボルト M12 × 70	本	32	
	ボルト M12 × 100	本	32	
現場孔明	φ 24.5	孔	80	
ボルト締め	T.C.B-M22	本	80	
溶融垂鉛めっき	HDZT77	kg	1477	
コンクリート削孔工	φ 18 × 58	孔	64	
緩衝材	クロム・レンゴム t=10mm	m2	2.2	
コンクリートはつり		m3	0.8	参考重量 W=1.8t
コンクリートカッター	t=10mm	m	16.0	

〈注記〉

- 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
- 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
- 待受けプレートの表面処理は溶融垂鉛めっき仕上げ (HDZT77) とする。また、接合ボルトは (HDZT49) とする。

工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 鋼桁補強工図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	1 1
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

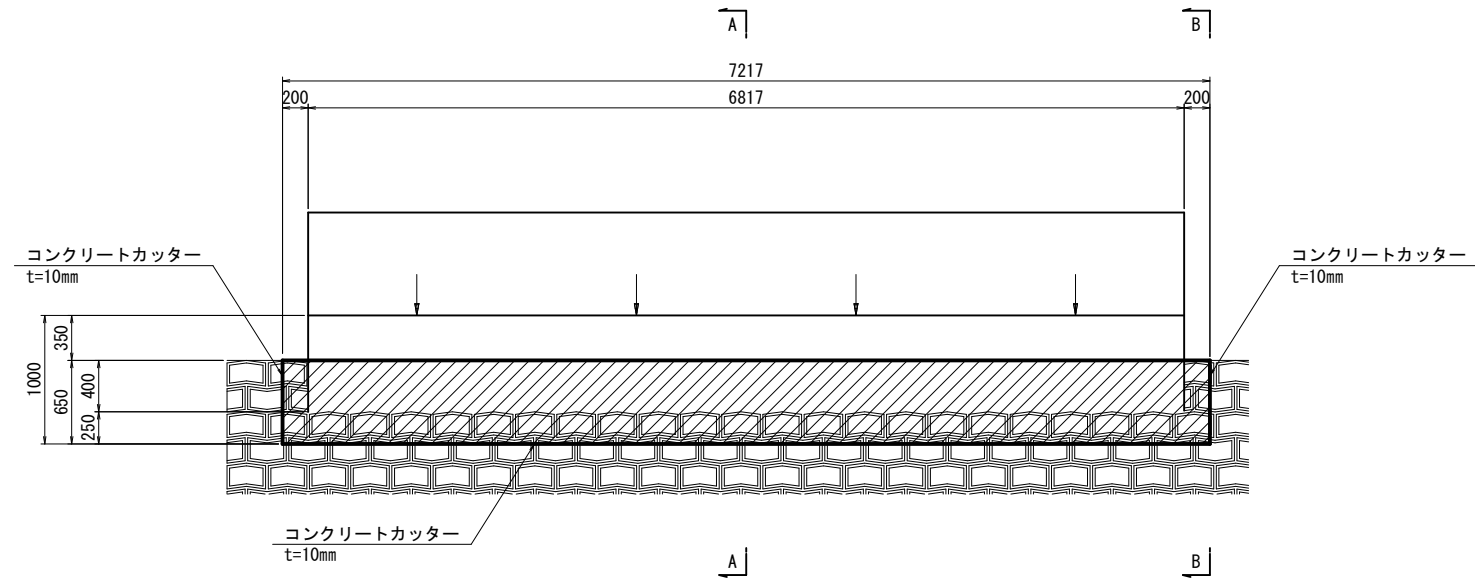
工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 護岸復去復旧工図（その１）		
縮 尺	図示	図面番号	１２
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

砂田橋 護岸撤去復旧工図(その2)

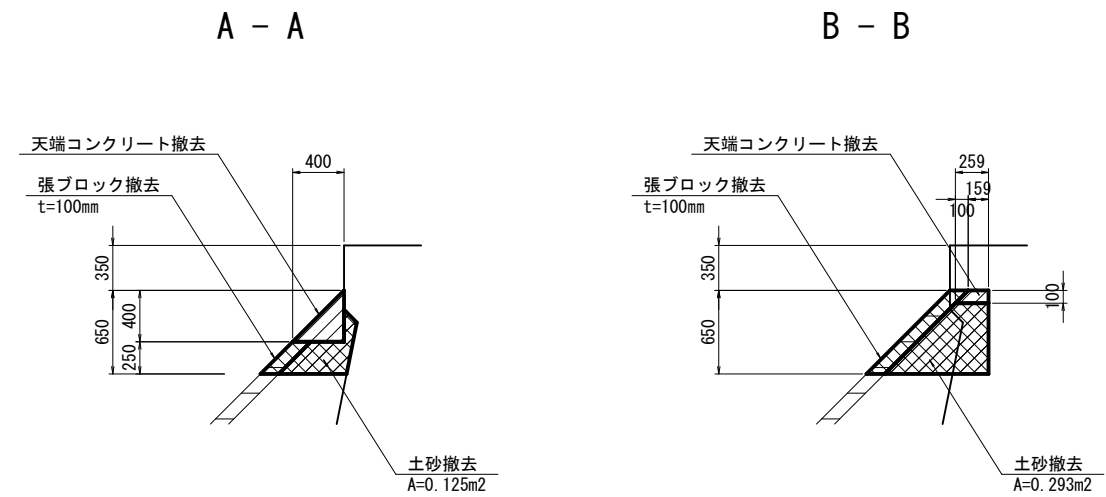
A2橋台

護岸撤去工

正面図 S=1:30

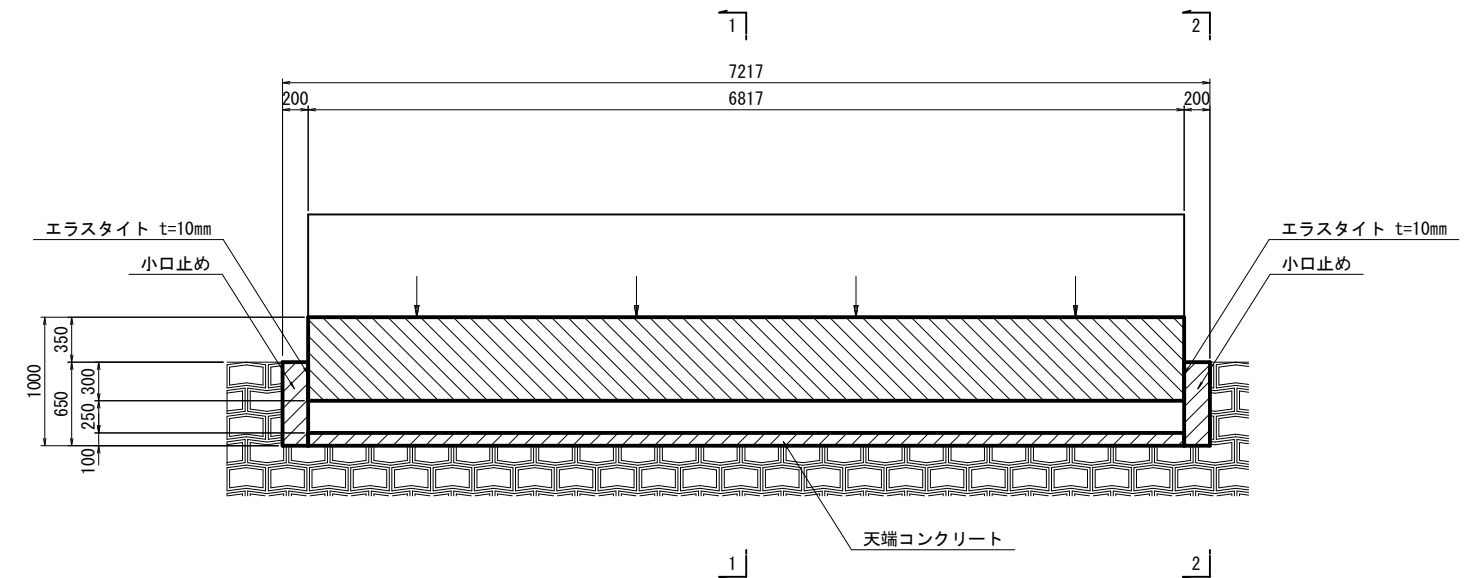


断面図 S=1:30

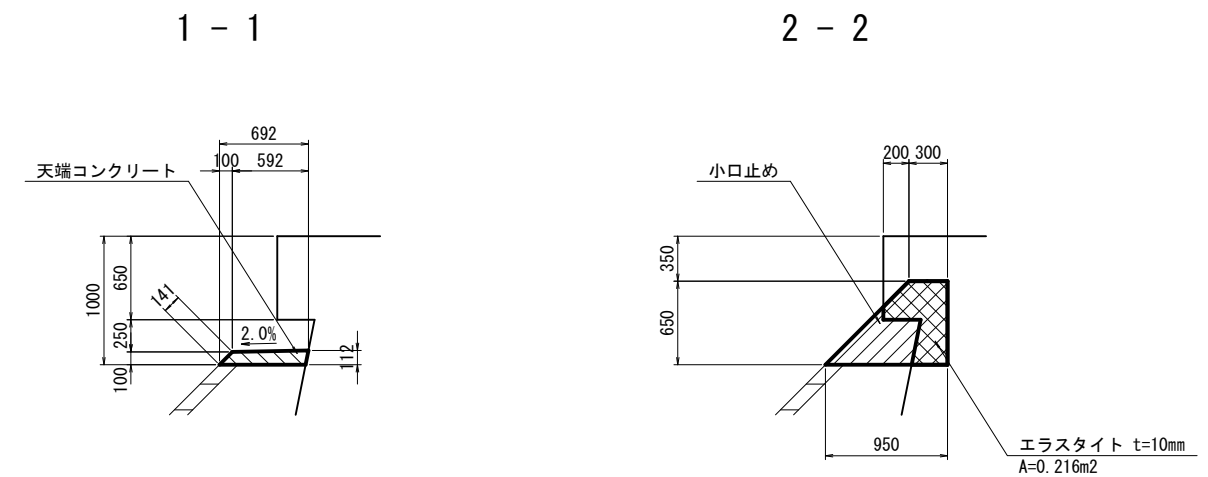


護岸復旧

正面図 S=1:30



断面図 S=1:30



護岸撤去・復旧工 数量表

1橋当り

細 別	規 格	単位	数 量	備 考
コンクリート	18-8-25	m3	1.5	
型枠		m2	3.8	
エラストイト	t=10mm	m2	1.1	
コンクリートカッター	t=10mm	m	18.8	
コンクリートはつり		m3	1.8	参考重量 W=4.3t
作業土工				
掘削		m3	3.2	土砂

〈注記〉

1. 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
2. コンクリート設計基準強度 $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ とする。
3. 天端コンクリートは排水勾配として2%程度の勾配をつけること。
4. 橋台と小口止めの間にはエラストイト ($t=10\text{mm}$) を設けること。
5. 天端コンクリート等の撤去を行う際、コンクリート殻が河川内に落下しない様に養生を行うこと。

工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－４）		
工事場所	甲府市 善光寺一丁目 地内 外		
路 線 名	市道 善光寺蓬沢線		
図 面 名	砂田橋 護岸撤去復旧工図（その２）		
縮 尺	図示	図面番号	１３
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			